

令和2年度

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社こばやし	代表者	小林 ちよ子	法人・事業所の 特徴	運営理念：明るく前向きに相手の立場を尊重、すべての人を平等に、その人らしさを大切に介護サービスに努めます。話をよく聞ける、待てる介護をします。地域、社会との連携を密に、素直な心で介護にあたります。
事業所名	小規模多機能ホーム こばやし	管理者	池野 札子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	人	2人	人	人	4人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	初期支援では利用者、家族に笑顔で丁寧に対応する。	利用者、家族の立場になり通常より細かく丁寧に対応しました。		
B. 事業所のしつらえ・環境	しつらえも人も明るく温かい雰囲気づくりを心掛けて行きます。	家庭的な雰囲気になるよう心がけてきました。		
C. 事業所と地域のかかわり	町内の回覧板を利用して情報収集し情報発信していく。	・コロナ事情により、例年行われている地域の行事などほぼ全て中止になっており、事業所も感染対策に努めました。		
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	月1回のオープンカフェを継続して開き、地域の情報収集を行い支援の糸口を見つける	・地域のイベントに出かけるのも、事業所のイベントに招待することもコロナ感染対策で自粛しました。	コロナ事情の中、屋外レクリエーションとして事業所の近所でウォークラリーをしている所があります。	町内回覧板で事業所の紹介をして周知を図り、困りごとなどの相談窓口になる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	困難事例の検討を行う（年3回）	・認知症状の対応の仕方などについて話し合いました。 ・会議は年6回の予定ですがコロナ事情により2回は書面開催になりました。		
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の防災訓練に地域の方に参加して頂く	防災訓練はコロナ事情により縮小して行いました。	地域の方や利用者・家族の方に事業所の防災計画が十分に認識されていない。	非常食3日分（米・賞味期限の長期食品・水等）を整備し、年に一度試食して防災意識を高め、備品を更新する。